

## 費目別上限額の計算の仕方

### ◆報償費が50%を超えてしまうケース

	当初	費目別割合
報償費	200,000	61%
旅費	10,000	3%
需用費	10,000	3%
役務費	50,000	15%
委託料	50,000	15%
使用料	10,000	3%
補助対象経費	330,000	
補助対象外経費	0	
合計	330,000	

←対象経費の50%を超える

→報償費が補助対象経費の50%になるよう減額する。

※補助対象経費-報償費=報償費上限額

上記例の場合は、330,000-200,000=130,000

	変更後	費目別割合
報償費	130,000	50%
旅費	10,000	4%
需用費	10,000	4%
役務費	50,000	19%
委託料	50,000	19%
使用料	10,000	4%
補助対象経費	260,000	
補助対象外経費	70,000	
合計	330,000	

←上限額ジャスト

←上限を上回る金額は対象外経費へ

### ◆委託料が70%を超えてしまうケース

	当初	費目別割合
報償費	50,000	5%
旅費	10,000	1%
需用費	10,000	1%
役務費	100,000	10%
委託料	800,000	82%
使用料	10,000	1%
補助対象経費	980,000	
補助対象外経費	0	
合計	980,000	

←対象経費の70%を超える

→委託料が補助対象経費の70%になるよう減額する。

※(補助対象経費-委託料)×0.7÷0.3=委託料上限額

上記例の場合は、(980,000-800,000)×0.7÷0.3=420,000

	変更後	費目別割合
報償費	50,000	8%
旅費	10,000	2%
需用費	10,000	2%
役務費	100,000	17%
委託料	420,000	70%
使用料	10,000	2%
補助対象経費	600,000	
補助対象外経費	380,000	
合計	980,000	

←上限額ジャスト

←上限を上回る金額は対象外経費へ